

5. 職業生活と家庭生活との両立の推進

- 多様な働き方の実現、男性を含めた働き方の見直し等を図るための広報・啓発等の推進
- 仕事と子育ての両立支援のための体制の整備、関係法制度等の広報・啓発等の推進

6. 子ども等の安全の確保

- 子どもを交通事故から守るための交通安全教育の推進、チャイルドシートの正しい使用の徹底
- 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進
- 犯罪、いじめ等により被害を受けた子どもの立ち直り支援

7. 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

- 児童虐待防止対策の充実
- 母子家庭等の自立支援の推進
- 障害児施策の充実

(2) 近年の議論

『子どもと家族を応援する日本』重点戦略（平成19年12月27日少子化社会対策会議決定）、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」（平成19年12月18日ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議決定）が相次いで発表されており、国における次世代育成支援の新たな方向性や目標を示している。

【参照】

『子どもと家族を応援する日本』重点戦略について

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/kaigi/ouen/pdf/st-1.pdf>

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/kaigi/ouen/pdf/st-2.pdf>

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」

<http://www8.cao.go.jp/wlb/government/pdf/charter.pdf>

「仕事と生活の調和推進のための行動指針」

<http://www8.cao.go.jp/wlb/government/pdf/indicator.pdf>

「新待機児童ゼロ作戦」

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/02/h0227-1.html>

「社会保障国民会議第三分科会（持続可能な社会の構築（少子化・仕事と生活の調和）
中間取りまとめ

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/syakaihosyoukokuminkaigi/chukan/siryou_5.pdf

「社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～」

<http://www.kantei.go.jp/jp/kakugikettei/2008/0729honbun.pdf>

ここでは『子どもと家族を応援する日本』重点戦略で示された2つの方向性である“仕事と生活の調和の実現”と“包括的な次世代育成支援の枠組みの構築”に基づいて、「1. 新たな対策の方向性」、「2. 課題」、「3. 新たに提供・拡充すべき取組」、「4. 対策推進上の留意点」、(1～4を受けて)「5. 地域行動計画策定の際、考慮すべき主な課題」について整理した。なお、“仕事と生活の調和の実現”については「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」の内容を反映し、“包括的な次世代育成支援の枠組みの構築”については、『子どもと家族を応援する日本』重点戦略を反映している。

基本的にそれぞれの文献の表記に即して整理しているが、語尾などの統一、「1. (1)」における国・自治体に関する事項（国と自治体を統合）などは、本来の意味を損なわない範囲で加筆している。また、1. など項の冒頭部分は、文献の内容を踏まえて要約しているため、参照元の表現とは異なっている。